

令和5年度 事業報告書

特定非営利活動法人ハニー・ビー

I 事業期間

令和5年4月1日～令和6年3月31日

II 事業の成果

令和5年度（2023年度）は長かった3年を超えるコロナ禍も5月には新型コロナウイルス感染症が5類となり、インフルエンザと同様の部類となりました。しかしながらコロナ禍前と比べるとリアルにふれあう機会が少なくなり、「人との距離」などを制限することが当たり前になっている中で、マスクを外して「顔が見える」にはまだ時間を要す環境下での「人との繋がり」の大切さを痛感することになりました。

学校行事の再開についても、学校ごとに様子を見ながら判断するようです。ハニー・ビーとしての活動も実施のやり方を考えての活動が続きました。人生のあらゆる場面において、社会の中で他者とつながり、助け合いながら生活をするということは非常に重要です。当法人の理念である「障がいがあっても社会参加は当たり前」「みんなにやさしい共生社会の実現」を合い言葉に、将来の自立（または自律）に向けてどのような形で実践していくのか、また当事者、保護者の方に対して、どのような形で寄り添えるのかを考えて活動をしました。そして、それぞれの事業所において、「役割を持って生きる」ことが大切ではないかと考えて創意と工夫を凝らしました。就学中のうちから個々人の特性を踏まえた自立（自律）に向けての療育支援をはじめ、ハニー・ビーにしか出来ない親亡き後を見据えての支援を各事業で実施しました。

今年度も放課後等デイサービス事業に関しては、豊中市においても沢山の事業所が乱立する中で、2010年5月に豊中市で民間初の放課後等デイサービス（当時は、児童デイサービスII型）を立ち上げた当初からのわたしたちの経験を体験値という力にして、ご家庭・学校それぞれの間をミツバチが花から花へと飛び、蜜を集めるように関係性を紡いでいく中（文部科学省がめざす、トライアングル構造）で、障がいのあるなしに関わらずお互いに寄り添いながら『地域社会で生きる』ことを目指していけるよう、サービスの充実を図りました。

マイ児童デイサービス（そね）では、小学生を対象に（中学生含む）今年度も『生活する上での基本動作の習得』を目標に掲げて活動しました。今は難しくとも、将来を見据えて「諦めないで、こうあってほしい」という思いや「親亡き後も社会の中で生きていくために」という考えのもと、小さな集団療育でのプログラムから将来への生きる力を養っていくものだと信じています。様々な工夫を凝らして、少しでも子どもたちが「楽しい」「またやってみよう」と興味や関心の幅が広がるプログラムを考えました。

マイ児童デイサービス（はっとり）では、知的・発達障がいのある中学生から高校3年生を対象に、感染症予防対策を講じて、将来の社会参加（特に就労）を見据えた支援に重きを置いて取り組みました。「あいさつ」や「ハウ・レン・ソウ」を常に意識し、コミュニケーションをとりながら自己表現できることを目標としました。それぞれの利用者に対して掲げた個別支援計画を、複数指導員の目でチェックし、「どうしたらできるか」を幾度も話し合い、グループ療育と個別療育（自立課題）それぞれについて、毎日のプログラムと週間プログラムに修正を加えながら、更なる変化をつけて対応していきました。

他の事業所との違いを明確にしつつ、豊中市で最初の民間事業所として誇りを持って、『将来を見据えた充実した療育支援の場、安心して活動出来る場』としてのサービスの提供に力を注ぎ、利用者様の保護者アンケート結果でも概ね高い評価を得ることが出来ました。

それぞれの事業所では、ご利用者さんに関しての「気になったことや小さな事故や気付いたこと」も保護者への連絡や報告を心がけました。豊中市内でも多くの事業所がある中で、他の事業所との違いを明確にしつつ、「当事業所を選んできていただいた」ことに責任を持って、『それぞれの事業所で関わる利用者さんの将来を見据えて、安心して活動出来る場』としてのサービスの提供に注力しました。

ハニー・ビージュブ B 型では、5 類移行後も感染症対策を実施してほしいという利用者の方からの要望も多くあったため、様々な感染防止対策を継続しながらの活動となりました。例年開催される「地域のお祭り」などに関しては、今年度はコロナ禍前のように開催され、再会を喜び合う機会が多くありました。様々な内職などの受注作業は、コロナ禍の影響が未だ強いのですが、部品の生産工場の停滞をはじめ、原料の高騰や仕入れ難などにより受注が難しい状況ではある様でしたが、有り難いことに何とかお仕事をいただくことが出来、多くの利用者さんに作業活動の場を提供することが出来ました。利用者さんにも「働く意義」や「自分の役割」を果たすことで、少しずつはたらく素地が出来ているのではないかと感じています。今年度も「みんなに出来る仕事作り」を念頭に置いて、個々の障害特性に応じた治具（じぐ）などにも工夫を凝らし、みんなで同じ仕事が出来ることから「僕にも（私にも）出来る。」という自信を培えたのではないかと自負しております。

また、相談支援センターハニー・ビーでは今年度も変わらず『親亡き後』の将来を見据えて「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」に基づく一般相談支援事業と「児童福祉法」に基づく障がい児相談支援事業の充実を図りました。一人ひとりに丁寧に向き合える関係性作りから、利用者とその保護者のニーズや困りごと、また漠然とした不安を聞き取る（傾聴する）場面を大切にしました。当事者の方とご家族（家庭）を真ん中に「学校（教育機関）」「事業所」との関係性を強固なものにするために、学校（教育機関）と事業所での困りごと、課題解決のために訪問の機会を持ちました。主に学校（教育機関）に関しては、支援教育と療育支援とのジレンマを感じながらも現状把握からの行動を変えていく大きなための役割を果たすものだと実感しました。アプリコット介護サービスでの個別支援やマイ児童デイサービスでの小集団での支援と連携し、調整する「要」の役割を果たすことで更なるサービスの質の向上を図りました。

アプリコット介護サービスでは、『ご利用者さんにとっての寄り添うサービスの提供』とは何かを探求しつつ、サービスを提供することは勿論ですがイメージすることが難しい『将来』を、ご利用者さんや保護者の方々と一緒に考え、助言や提案から信頼の礎作りを心がけました。提案すること自体が、ご利用者さん、ヘルパー双方にとって少し負担になるかもしれないですが、サービスの在り方に『頑張る、諦めない姿勢』が見られました。「そんなこと、（うちの子に）出来る訳がない。」と消極的だった方々（利用者及び保護者）も、少しずつですが変化が見えてきて、「もしかしたら出来るかも」という『将来への希望や自信』に繋がる体制作りをしました。

NPO 事業では、法人としての目標として掲げている『地域の方々に愛される法人』をめざして、今年度も「人との繋がり」を大切に活動を展開しました。

2023年度の『第14回サポートが必要な子どもたちとの宿泊体験 IN 淡路島2023』は新型コロナウイルス感染症が5類になったことの安心感からか、チャレンジャー25名

(2名発熱等のためキャンセル)、サポーター23名、構成員3名で開催することができました。例年通り、前々日から当日までの体調チェックを実施して、無事に宿泊体験を終えることができました。なお、この事業は独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金助成活動事業として実施しました。

『第7回サポートが必要な子どもたちとの料理教室』では、今年も5月から11月までの間、月1回(年間計6回)開催しました。新型コロナウイルス感染症が5類に移行した影響からか参加者も少し増加し、ボランティアさんも含めて延べ146名の参加がありました。「自分たちの体験値を積み重ねる」という目的で、サポートが必要な子どもたちが自信を持って活動することに、また人との関わりが楽しいと思える場所が提供できたことは一番の成果だと思っています。無事に食中毒や怪我もなく終わられたことに安堵しています。

2012年より毎年開催しております、『第12回みんなでワイワイさんあいイベント』は、11月12日に豊中市服部西町のふれあい緑地の芝生広場で開催しました。障がいのあるなしに関係なく「であい・しりあい・わかりあい=3あい(みつつのあい)」の大切さを地域と共有するイベントとして、近隣住民の方をはじめ、多くの方々のご協力をいただきながら開催することができました。豊中市役所中心に広報を行った子ども広報部活動、当日までに沢山のエントリーをいただいた子ども店長も例年通り実施しました。当日は、あいにくの悪天候での開催となりましたが多くの来場者(主催者発表2500人)があり、雨の中でも子どもたちの元気な笑顔とエネルギーにあふれたイベントとなりました。

ハニー・ビーでは、毎年度当初に開催される全体会議で理事長から今年度の活動基本方針及び今年度の目標として、「ハニー・ビーの活動を進めるにあたって」を全職員に示し、それぞれの役割を担って「全職員が楽しく働ける環境作り」を掲げました。研修等に関しては、今年度も特定非営利活動法人として、『地域共生社会の実現』をめざしてなど、働くことに生きがいややりがいを実感できるような環境を整備して、障がい者福祉に長く関わり(働き)続けてもらえる人材の育成に取り組みました。法人設立当時のミッション『障がいがあっても社会参加は当たり前～みんなにやさしい共生社会の実現～』をめざして活動を続けてまいりました。

III 事業実施の状況

1 特定非営利活動に係る事業

(1) 事業区分「障がい者(児)の自立・就労の意義」に関する講演会、勉強会、見学会

【事業名】 実習・見学会事業

【事業内容】 今回の見学では、実際に障害のある方の働く姿やサポート体制を見て、将来、自分が働けるイメージを膨らませ、また支援を担当する職員の方から共に仕事を進める中での思いなどをうかがいます。

【実施場所】 ・兵庫県西宮市 阪神友愛食品株式会社(生活協同組合コープこうべの特例子会社)及び コープこうべ鳴尾浜配送センター3階 株式会社ゆうあいサポート

・大阪府中央区 大阪府庁公館

・大阪府豊中市 豊中市環境部公園みどり推進課ふれあい広場 SEED

【事業対象者】 放課後等デイサービス利用者、就労継続支援B型事業所利用者、相談支援利用者および家族、指導員、支援員など

【活動報告】 今年度は、昨年度よりも見学などの受け入れ規制が緩和されたこともあり、実習や見学を実施することが出来ました。

(2) 事業区分 療育支援事業

(ア)【事業名】 就労支援プログラム（トレーニングジョブ＝トレ・ジョブ）事業

【事業内容】 本事業は、主に知的・発達障害のある子どもたちと就労体験が出来るところをマッチングし、サポーターと共に地域での草の根的な支援者、事業者への理解を深め、また当事者も体験値を培う就労プログラムです。

【実施時期】 通年随時

【実施予定場所】 (学) 育保学園 (熊野田幼稚園、くまのだ保育園)

【事業対象者】 就労(社会参加)をめざす方々

【活動報告】 今年度も幼稚園・保育園では、新型コロナウイルスが5類に移行されたばかりで感染症対策による規制が緩和されず、受入が許可されなかったため、中止となりました。

(イ)【事業名】 宿泊体験事業

【事業内容】 本事業は、独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金の助成を受けて、【豊中市・豊中市教育委員会の後援】のもと、第14回目となりました。サポートが必要な小学4年生から18歳までの23名が、保護者と離れて様々な体験をする中でルールやマナーを学び、仲間との連携、達成感などの体験値を高めるための宿泊体験を行ないました。自然の中での体験を通じて、グループ活動をする際にチームワークの大切さなどを学びます。またサポーター(ボランティア)も日頃あまり出逢うことのないサポートの必要な子ども達(チャレンジャー)との関わりから理解や意識も変わっていくことに繋がればと企画しています。

【実施予定時期】 令和5年7月29日(土)～30日(日)

【実施予定場所】 兵庫県南あわじ市 じゃのひれリゾートなど

【事業の対象者】 チャレンジャー・サポーター合わせて 52名

【収益】 1,215,342円(うち助成金 801,342円含む)

【費用】 1,223,342円

【活動報告】 今年度は、コロナ禍も明けたということもあり、「開催したい」という気持ちを強く持って取り組みました。しかしながら直前に発熱、家族の体調不良もあってのキャンセルがあったのが残念でしたが、暑い中にもかかわらず楽しい活動が出来たと自負しております。大きなお風呂体験、家族以外の人と過ごす、自分の役割を果たすことを課題に取り組みました。暑さに体調不良を訴える人も若干出ましたが、看護師さんの迅速な手当のおかげで元気に帰ってきました。今年度もひとりのチャレンジャーにほぼひとりのサポーターをつける体制を整えて無事に終了しました。

(ウ)【事業名】 地域連携事業

【実施内容】 本事業は、【豊中市・豊中市教育委員会の後援】のもと、服部西町にあるふれあい緑地の芝生広場を会場に第12回目の開催となりました。

本イベントは、「であい・しりあい・わかりあい」の3つをテーマに、3つの目的を持って開催しています。1つ目は、地域で生きる人たちそれぞれの「相互理解を図る」という趣旨に基づいて、障害のあるなしに関わらず、地域の皆さまとの出逢いの場を提供し、3つの「あい」=『さんあい』を共有していただくお手伝いをさせていただきたい。2つ目は、社会参加の機会が少ない障がいのある方や子どもたちに、イベントやこども店長体験などの活動に参加できる場を提供し、自信を付けたり、社会との繋がりをを感じる機会を作りたい。3つ目は、地域のサークル等でパフ

パフォーマンスの練習はしているけれども、なかなか発表の機会がないという子どもたちの為に、笑顔いっぱいのパフォーマンスが出来るステージを提供し、活躍できる場を作りたい。以上3つを目的に、2012年より毎年開催しています。

【実施時期】 令和5年11月12日（日）10時30分から15時15分

【実施場所】 豊中市服部西町 ふれあい緑地

【事業の対象者】 市民など 2,500名程度

【収益】 308,000円（うち寄付金 209,000円・協賛金 99,000円）

【費用】 1,124,158円

【活動報告】 今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、コロナ禍前のように子どもたちが中心となって、子ども広報部の活動を11月1日に実施しました。豊中市役所を中心にご対応いただいた教育長、福祉部長をはじめ、職員の皆さんには、実際に「子ども広報部員」を通じてハニー・ビーの姿勢を感じていただけたと思っています。心温まる対応をいただき広報部員も「市役所でたくさんの人とお話が出来た。」と大喜びでした。何より、大きな自信になったようです。近隣の小学校と住民の方々へのチラシ配布にもご協力をいただきました。資金面でも多くの方々から協賛金を頂戴出来たことは、わたしたちにも大きな自信となりました。

前回から「こども店長」の参加申し込みにQRコードを使用し、ホームページ上で受付するという方法に変更しました。参加者はもちろん、運営担当者からも利便性が上がったと好評でした。

雨の予報で開催が危ぶまれましたが、「子どもたちの笑顔」の為に、「何としても、子どもたちが活躍できる場を作りたい。」という気持ちが強く、色々な方にご協力いただいているなかで準備を進めていたこともあり、できる限りのことをしようという思いで開催を決定しました。

開催日当日は、予報通り、今年もあいにくの雨となってしまいましたが、予想以上の来場者があり、雨の中でも子どもたちがステージでの発表や「こども店長」にチャレンジし、キラキラとした笑顔でイベントを楽しんでくれている様子を見ることができました。

悪天候ではありましたが、皆さんからの「やって良かった！」というお言葉で、「さんあいイベント」の目標を達成することができホッとしました。回を重ねるごとに輪が広がり、ハニー・ビーとしては、近隣地域の人をはじめ、多くの皆さんのご協力をいただき「地域のお祭りだから協力するよ。」と力強い応援をいただけたことが、成功につながったのだと思います。

年々賑わいと共に地域の皆さんとの関わりが深まり、今回も、市職員の皆さまには「はたらくるま」や「フードドライブ」にご協力をいただくと共に、地域の防犯委員さんにはボランティアとして会場警備を担っていただきました。今回も豊中南警察署からパトカー（白バイは雨天のため中止）、豊中南消防署からは、消防車を「はたらくるま」として展示していただきました。時折雨が降る中での開催となりましたが、2,500余の方々の来場をいただき無事に終了しました。

(エ)【事業名】 支援が必要な子どもたちとの料理教室事業

【実施内容】 本事業は、今年度も自主事業として実施しました。【豊中市・豊中市教育委員会の後援】のもと、今年で第7回目となりました。サポートが必要な子どもたち自身が、保護者以外の料理サポーターをはじめとしたボ

ランティアの人達と関わりを持ちながら、「料理を作る」楽しさを感じ、経験値を高め、日常生活の自信につながることを目的としています。

【実施時期】 令和5年5月21日（日）から11月19日（日）までの間、計6回

【実施場所】 ハニー・ビー 事務局ほか

【事業の対象者】 参加者、ボランティア併せて延146名

【収益】 86,000円

【費用】 91,799円

【活動報告】 今年度はコロナ禍も明け、新型コロナウイルス感染症が5類に移行した中での活動となり、多くの子どもたちが参加しました。自分でも作れる昼食をイメージして、料理を自分で安全に道具を扱い、全員が何らかの形で役割を持てるように心がけて、ボランティアさんの助けを借りて開催しました。

このような体制の中でも「他人（ひと）のために役に立つ」ことを実感し、「料理って、楽しいよね!」「お家でも作ってみる!」と前向きな発言が多く聞かれました。ボランティアの皆さんも障がいある子どもたちの無限大の可能性を改めて実感し、分かり合える場が出来ました。

(3) 事業区分 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業

(ア) 【事業名】 居宅介護・重度訪問介護事業

【事業内容】 本事業では、知的・発達障がいをはじめ様々な障がいのある人と子どもたちへの身体、生活介護や通院時の付き添い、家事援助などの支援を行います。また、利用者本人の力を引き出せるように、様々な場面でのお手伝い、自立に向けて支援をしていきます。寄り添うことを心がけ、利用者本人と保護者のニーズに合わせたサービス、将来の社会参加を目指してのサービス、また保護者のレスパイトケア（一時休息）的役割も果たすべくサービスを実施します。

※以下、移動支援事業に同じ

【実施場所】 豊中市など

【実施日時】 通年随時

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【収益】【費用】 下記（4）に、（3）（4）事業を合算し報告

【活動報告】 下記（4）に、（3）（4）事業を合わせて報告

(イ) 【事業名】 就労支援事業（就労継続支援B型）

本事業では、障がいがあっても自立（自律）した生活が営めるように様々な知識やスキルを一人ひとりのニーズに添ったプログラムで一緒に考えて活動をしています。「はたらく」＝作業（お仕事）を通して、自立・自活に向けて生活の質の向上や豊かさを感じられることが自己実現に繋がり、その中で社会性や社会生活スキルを習得することを目標としています。余暇活動や利用者会議の開催など積極的に取り組みマンネリ化しないように、利用者さん同士のコミュニケーション醸成の場としても力を入れています。

作業（お仕事）での自主製品作りでは、現在商品として紹介している季節のリース、マグネット、アロマストーンの他にもヘアアクセサリや多肉植物・観葉植物の寄せ植えなども行っています。

また、ハニー・ビージョブ独自の生産販売活動として、地域の商店や企業のお勧め商品を掲載したカタログを地域の皆さんの自宅や事業所に配り、注文いただいた商品の宅配と販売を通じお客様と関わる事で、社会性やコミュニケー

シヨンスキルを体得し、地域で当たり前に行生活できるためのスキルを学んでいます。

【令和5年度 ハニー・ビー ジョブ 主な事業と行事】

月	主 な 行 事
5月	ふれあい緑地フェスティバル販売
6月	しごとサポーター研修会（ハローワーク講師）
7月	新田南夏まつり販売
8月	豊中まつり販売・服部夜店販売・余暇支援（お菓子作り）
9月	ひまわりまつり販売・わくわくフェスタ販売・地震避難訓練
10月	服部ハロウィン販売・東豊台まつり販売・虐待防止研修会
11月	さんあいイベント販売・コープ桜塚店販売
12月	ラボオープン・クリスマス会
1月	初詣（豊中稲荷神社）・余暇支援（クイズ大会）
2月	食育研修会
3月	普通救命講習会・火災通報訓練
毎月	水曜日(1~2回/月)⇒野菜焼芋販売・宅配 第4月曜日⇒利用者会議、青年教室（豊中市教育委員会補助事業）軽運動・ストレッチ体操 パン販売⇒吹田支援学校・摂津支援学校 （以上定期的に実施）

（イ）－1【ハニー・ビージョブB型】

【事業内容】 法人の掲げている「みんなにやさしい共生社会の実現」への思いとして、障がいがあっても社会参加は当たり前、地域で生きていけるよう、また自己実現できるよう、主に知的・発達障がいのある人を対象に、『はたらく』ことを通じて社会の一員として『自分らしく働ける』『就労をとおして、人生を輝かせよう』との思いを持って、様々な活動と体験の機会を通して、人との関わり楽しさ、社会性を養う支援を行います。

【事業場所】 豊中市

【実施日時】 通年1年

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【収益】 29,578,766 円

【費用】 37,498,163 円

【活動報告】 今年度は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されましたが、感染症対策を実施してほしいという利用者の方からの要望も多くあったため、様々な感染防止対策を継続しながらの活動となりました。送迎時に利用者さんの検温と消毒を実施するとともに窓を開けて車内換気に努めました。施設内におきましては昨年度から引き続き「低濃度オゾン発生装置」の活用と換気、ドアノブ等共用部分の消毒を徹底しました。職員や利用者の方に対しては、「うがい・手洗い・検温」を確実に実施しました。作業や昼食時は3密を避けるため1階と2階に分散するとともにシールドを設置するなど感染防止に努めた結果、これまでと同様に継続した開所が出来ました。

今現在の利用者のニーズ、保護者のニーズまた社会情勢なども勘案しながら、利用者の知識習得やスキルアップにも店頭販売の機会や宅配に行くことで、実際の人と人との関わりの中からのコミュニケーション力がついてきているように思います。通所されているメンバーの「次のス

テージ」を考えながら、実際に利用者を主役において『障がいがあっても自分らしく働ける』ことを、色々なところで示し、諦めないで自信を持って地域に根ざして『障がいがあっても自分らしく働ける』ことを示していきます。

また今年度は、豊中高校南側の新築施設を借上げ、焼き菓子等の製作販売を目的とした新規事業所を展開するため、事業所内外から様々なアイデアを持ち寄り、新たな職域の開拓に挑戦しました。新規利用者さんの採用も視野に入れ、『地域に根ざして働ける場所』として、令和5年12月1日にパンと焼き菓子の小さなお店を開店し「HONEY LABO（ハニーラボ）」と名付けました。通常の店舗営業だけでなく、今後はイベント出店や様々な企画を展開していく予定です。（来年度は、別枠事業として展開）

今年度末の利用者数は、定員の20名に対して16名となりました。次年度4月には1名の新規利用者増え、在籍者が17名となります。

【令和5年度 利用者数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
定員	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
在籍者数	16	17	17	16	16	16	17	17	17	17	17	18	201
開所日数	20	23	22	21	20	21	22	23	20	20	21	21	254
延利用者数	267	299	300	287	250	280	304	305	287	261	268	299	3,407

(イ) -2 【就労支援生産販売収益活動】

【事業内容】 ハニー・ビージョブでは、毎日コンスタントに障がいのある方が6時間働き続けられる環境づくり、仕事づくり、その他関連する管理業務などを推進し、障がいのある人たちに出来るお仕事を探求しています。

障がいのある人たちは働けないのではなく、「精神障害の人は短時間しか働けない」「知的障害の人には仕事は無理」などの周囲の偏見から、働くことを諦めてしまうことが多くあります。

しかしながら、利用者を見ていると店頭販売などで働き色々な体験値を積むことで、時間はかかりますが『自分で出来る』ようになります。その姿を見て、周囲の人の意識が変わる場合も多々経験してきました。

また、将来の就労に向けて作業スキルの向上を図るため、様々な「受注作業」を経験しました。今後も、自主製品の製作や地元企業を中心に特色ある商品の店頭販売や宅配活動を通じ、利用者に就労の機会を提供し、特性に応じた知識や能力の向上を目指し、働く事の達成感や満足感と、生産販売活動に従事した内容に応じた工賃の支給を行います。

【事業場所】 豊中市

【実施日時】 通年1年

【事業の対象者】 ハニー・ビージョブ就労継続支援B型の利用者

【収益】 4,390,961円

【費用】 4,074,500円 <内訳> 売上原価 2,204,260円
生産販売管理経費 1,870,240円 ※1

(※1) うち利用者工賃支給額 1,375,170円 (一人平均月額工賃支給額 6,842円)

【活動報告】 今年度も定番の八木屋宅配や店頭での野菜販売など根気強く活動を継続しました。

自主製品の新規開発については、「リアルキーホルダー」などを販売し好評を得ました。

受注作業については、「クリアケース」や「カムカムキャンデー」も定期的に発注をいただきました。

また、令和5年2月から開始した「アマゾン商品」の受注作業では、発注元の企業の方との作業工程に関する綿密な打ち合わせを重ね、徐々に売り上げを伸ばしています。

昨年度に公益社団法人「24時間テレビチャリティー委員会」より冷凍冷蔵車を寄贈していただきましたが、冷凍冷蔵装置を活かした事業を展開することが難しく来年度の課題として取り組むこととしました。

今後も生産販売活動の拡充を図り、利用者工賃支給額のアップを目指していきます。こうした取り組みを通じ、ハニー・ビージョブの地域での認知度も増し、地域の方々に販売活動を通じて働く利用者へと接する機会を持つことで、お互いのマイナスイメージが払拭され、更に言葉を交わし触れ合うことによって、障がい者に対する意識も変わってきていると実感しています。なお生産販売活動状況は下表のとおりです。

【生産販売活動の対象製品と受注作業】

自主製品の製作	コンビニ弁当用エコバッグ、スイーツマグネット・スイーツクリップ、マグネットシートセット、竹炭消臭セット、多肉・観葉植物の寄せ植え、季節のリース、季節の飾り物、ヘアークセサリー等々、企業用オリジナル販促グッズ、リールキーホルダー、オリジナル商品製作等
主な販売品	パン、シフォンケーキ、チーズケーキ、手包み餃子、野菜、レギュラーコーヒー、米、りんごジュース、リンゴジャム、フラワーアレンジメント、洗濯用品など
受注作業	カムカムキャンデーの袋詰作業、クリアケースの一部加工作業、アマゾン商品袋詰発送作業、車両の清掃

【販売活動「八木屋」状況】

販売場所等	販売品等	個所回数
豊中駅構内 なかまの店 (豊中市福祉の店「なかま」)	自主製品、多肉・観葉植物・りんごジュース&ジャムなど	2回
地域福祉活動支援センター	自主製品、多肉・観葉植物・りんごジュース&ジャムなど	1回
ハニー・ビー ジョブ店頭販売	主として野菜、焼き芋、漬物、自主製品、多肉・りんごジュース&ジャム	28回
八木屋宅配活動	やさい・パン・チーズケーキ・餃子など	360軒
各支援学校	パン販売・リンゴジュース&ジャム	摂津9回 吹田9回
豊中市厚生会幹旋販売	お正月用リース・自主製品	1回
豊中市社会福祉協議会	赤い羽付寄付つき商品(竹炭セット・リールキーホルダー)注文販売	1回
千里コラボ	スイーツマグネット受注	1回
プレデンシャル生命	リールキーホルダー受注	1回
地域イベント出店	パン・自主製品、多肉・観葉植物・りんごジュース&ジャム、焼き芋等	9回

今後も新たな事業展開を検討し生産販売活動の拡充を図り、利用者工賃の向上を目指します。

(4) 事業区分 障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業

【事業名】 移動支援事業

【事業内容】 主に知的・発達障がいのある方や子ども達の外出の際の付き添い、移動の支援を行ないます。また本人の力を引き出せるよう、移動時のお手伝い、余暇活動や自立に向けての支援を行うことで、利用者本人、保護者それぞれのニーズに合わせた、余暇活動や将来の社会参加をめざしてのサービス、また保護者のレスパイトケア（一時休息）的な役割も提供できるように実施します。

【実施場所】 豊中市、吹田市など

【実施日時】 通年随時

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【収益】 12,176,821 円 【(3) アと (4) の合計】
(うち、(3) アの介護給付費 5,735,221 円)

【費用】 14,906,146 円 【(3) アと (4) の合計】

【活動報告】 (3) ア及び (4) いずれも知的・発達障がいの当事者に対して、小さなうちから親亡き後の将来へそれぞれがめざす「自立」（または、自律）に向けての方向性等を余暇支援や成功体験を積み重ねて、その先にある『地域で生きる』『働く』社会参加をめざすことを意識して、居宅介護、重度訪問介護、（現在は利用契約なし）並びに移動支援を行ないました。

支援の中では、利用者様にとって先ずは「やってみた結果」成功体験から、自らの行動に自信を持ち、暮らしに楽しみや幸福感、充足感が持てるよう心がけました。

また第三者（家族以外）であるわたしたちヘルパーとの『信頼して託していただける』関係性を構築する一つひとつのかかわり（ご縁）を大切にし、その小さな積み重ねが将来にわたって繋がりをまた拡がるものと思いを活動をしました。

(5) 事業区分 児童福祉法に基づく障がい児通所支援事業

【事業名】 放課後等デイサービス事業

（マイ児童デイサービス、マイ児童デイサービスはっとり）

【事業内容】 本事業では、主に、知的・発達障がいのある子どもたち（小学校1年生から18歳）に対して、しっかりとした個別支援計画に基づいて、一人ひとりの障がいと個性を見つめ、通所にて放課後等デイサービスの提供をしています。

マイ児童デイサービスが主に小学生の児童、マイ児童デイサービスはっとりが主に中学・高校の児童（生徒）を対象にしており、それぞれの年齢や環境に応じた課題を掲げニーズにあった支援を提供しています。

学齢期にある児童の発達を促し、将来を見据えた社会生活を送るために必要な力を身につけ、将来働くということで自信に繋がるよう、個別療育と集団療育（小集団の中で培うことの出来る週間プログラム）の2面で支援を行なっています。

保護者はもとより、子どもたちにも分かりやすい家庭でも取り組めるような『療育支援』のアドバイスなども行い、将来の自立（自律）へと促せるよ

うに寄り添う支援を心がけて事業を行っています。

また、毎年保護者評価並びに事業所自己評価を実施し、法人のホームページページにその結果を公表しています。今後とも、日々業務の見直しを行い、「選んでいただけるサービス」の向上に取り組み、適正なサービスの提供に努めます。この機会をコミュニケーションを図る絶好の機会と受け止め、積極的に信頼関係を構築していきます。

【事業場所】 豊中市

【実施日時】 通年1年

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【収益】 (そね) 25,311,376円 (はっとり) 21,898,767円
計 47,210,143円

【費用】 (そね) 24,915,213円 (はっとり) 23,842,291円
計 48,757,504円

【令和5年度 マイ児童デイサービス合同開催行事】

6月	保護者交流会 (そね・はっとり・アプリコット・ジョブ・相談支援合同) 講演会テーマ「子ども本人から見た自立 (自律)」 講師：豊中市児童発達支援センター所長 高 容康さん
----	---

(ア) マイ児童デイサービス (曾根事業所)

【活動報告】 昨年5月にコロナ感染症が季節性インフルエンザと同じ、「5類感染症」に移行されました。長く続いたコロナ禍の中での様々な制限が少なくなり、活動の幅も大きく広がりました。

そのような中で、基本となる生活動作を身に付けることが「自分を守ること、そして大切な人を守る」ということことに繋がるということを念頭におくとともに季節感や自然を感じながら、子どもたちの笑顔が溢れる楽しい時間になるようにという思いと、一人ひとりの特性を考慮した内容を考えた、活動を進めて来ました。

とくに昨年度は「発達支援における音楽活動の効果」に着目するとともに、「感覚統合理論」をベースにおいたプログラムを展開してきました。

個別支援プログラムでは子どもの特性を考えて、手作り教材を工夫したり、モンテッソーリの療育教材教具による療育活動や、子どもたち一人ひとりの通う学校の教育活動の内容を踏まえた学習支援など、個々に応じた療育の充実を図ってきました。

集団プログラムでは日常生活をスムーズに行うための支援や遊びを通じたコミュニケーション能力の向上、運動機能の向上とともに、音楽に感覚統合の動きを取り入れた音楽サーキットや、ジャンベやカホン、カウベル、ギロ、オーシャンドラムなど様々な percussion (打楽器) によるリズム遊び、体感を整えるダンス等、音とリズムを楽しむ音楽療育も充実させてきました。

療育以外では、放課後等デイサービスと学校と家庭の連携を重視しながら、信頼される事業所をめざして些細なことでも保護者との連絡を頻繁に取り、情報交換を密にしながら子どもの状況や課題についての共通理解を深めるとともに、子どもの在籍校を訪問し、情報交換や課題共有をしながら、家庭、学校とデイとのトライアングル連携の大切さを再確認し「切れ目のない支援」、「生きていく上で必要な療育支援」を進めてきました。

《療育とは・・・》

心身の健康や生活に関する領域「健康・生活」、運動や感覚に関する領域「運動・感覚」、認知と行動に関する領域「認知・行動」、言語・コミュニケーションの獲得に関する領域「言語・コミュニケーション」人との関わりに関する領域「人間関係・社会性」の5領域にあたる、これらの領域の支援内容についてスタッフのスキルアップを図るもの。

【令和5年度利用者数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
利用者数	167	200	205	197	176	193	205	181	172	167	167	169	2,199
利用日数	20	23	22	21	20	21	22	22	19	20	21	21	252

月平均利用者数 183.25名

令和5年度 マイ児童デイサービス(曾根事業所) 週間プログラム(主な内容)	
4月	「オリエンテーション」 音楽「リズムに合わせて」 マナー「交通ルール お花見」 制作「こいのぼり」
5月	制作「家族へのプレゼント」 運動「キッズヨガ」 避難訓練「地震」 音楽「リズム遊び」
6月	音楽「リズム遊び」 認知「時間を守ろう」 運動「タイムレース」 音楽「ドレミ遊び」 クラフト「七夕まつり」
7月	イベント「七夕まつり」 「カプラ」 音楽「夏の音楽祭」 クラフト「夏祭り準備」 レクリエーション「夏祭りを楽しもう」
8月	レクリエーション「夏まつりを楽しもう」 運動「室内サーキット」 音楽「リトミック」 ☆夏休み特別企画「ラジコンサーキット」「ホームシアター」
9月	防災「避難訓練」 音楽「リトミック」 生活「宇宙の日」 音楽「秋の音楽祭」 クラフト「お月見・十五夜」
10月	リトミック「身体を動かそう 音楽サーキット」 季節感「秋祭り 収穫祭」 音楽「秋の収穫祭」 クラフト「ハロウィン制作」 イベント「ハロウィン」
11月	運動「ダンス」 制作「落ち葉のフロッタージュ」 音楽「タムタム大王」 クラフト「クリスマスのプレゼント作り」
12月	クラフト「クリスマスプレゼント作り」 運動「バランス遊び」 イベント「クリスマス準備」 レクリエーション「クリスマス会」
1月	生活レクリエーション「初詣・お正月遊び」 レクリエーション「正月遊び」 運動「キッズヨガ」 音楽「冬の音楽祭」
2月	「節分・鬼のお面づくり」 防犯「不審者対応」 運動「ダンス」 「カプラ」 「ひな祭り」
3月	「ひな祭り」 音楽「リトミック」 制作「記念品作り」 運動「サーキット」 「卒業・進級を祝おう」

(イ) マイ児童デイサービスはっとり(服部事業所)

【活動報告】 知的・発達障がいのある中学1年生から高校生3年生を対象とした放課後等デイサービスです。特徴的なそれぞれの利用者に対して、個々に対応した個別支援計画を作成し、日々の活動の中で掲げた計画を指導員数名の目でチェックし、「どうしたらできるか」を、グループでする療育と個別にする療育（自立課題）それぞれについて、各人の個別支援計画に基づき、毎日のプログラムと週間プログラムを変化させながら対応しました。

その中でも、プログラムの中でただ作業をするのではなく、「あいさつ」や「ハウ・レン・ソウ」を常に意識することで、「はたらく」＝そば（ハタ）の人を楽（ラク）にすることを念頭において、行動出来るようにプログラムを工夫しました。また、身の回りのことが自分で出来るようになること、自分で出来ることを増やす支援も続けました。

5月より新型コロナウイルスによる各種の規制も緩和され、ビニールシートによるシールドを撤去し、児童のマスク着用も保護者の判断に委ねています。引き続き、室内の換気、空気清浄機と加湿器の稼働、間隔を空けての座席配置、手洗い、消毒、マスク着用、検温は実施、通所事業所として新型コロナウイルス及びインフルエンザ等の感染症対策は継続しています。

① 週間プログラムは、週ごとに、挨拶・自己紹介・履歴書の書き方・お金の理解・作業練習・クラフトなどの項目を、その季節にあった内容で作成し療育支援をしました。例年、クッキングをプログラムの中に加えておりましたが、新型コロナウイルス感染防止を踏まえて今年度も実施は見送りました。

② 就労プログラムについては別途記載

③ 昨年度に続き、音楽療法プログラムを実施しています。主に、学校休業日の祝日に開催し、昨年度より1回増やし計8回実施しています。祝日は自宅で過ごす児童もおり利用が減ることも多いのですが、音楽療法の日は毎回多くの児童が利用しています。普段のプログラムの中では楽器を用いることは少ないので、児童も楽しく参加しています。珍しい世界の民族楽器に触れ、親しみ、達成感、自己肯定感の向上に繋がっていきます。

【令和5年度 利用者数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
利用者数	150	160	161	155	145	173	177	163	167	160	156	165	1,932
利用日数	21	24	23	22	20	22	23	23	20	21	22	22	263

月平均利用者数 161名

令和5年度 マイ児童デイサービスはっとり 週間プログラム (主な内容)	
4月	「オリエンテーション」、マナー「自己紹介練習」、衛生「手洗い練習、台拭き練習」、作業「作業練習」
5月	クラフト「5月のクラフト」、防災「避難訓練」、お金と数字「お金の理解」、体験「野菜の苗植え」、衛生「手洗い練習、台拭き練習」、作業「作業練習」
6月	マナー「あいさつ練習実践編」、お金と数字「お金の理解」、クラフト「七夕飾り」

7月	マナー「あいさつ練習実践編」、お金と数字「お金の練習」、作業「作業練習」、 お金と数字「お金の練習」
8月	実習「職場体験実習」作業「流れ作業の練習」調理「クッキング」、数字「計量・計測の練習」、 数字とお金「お金の練習」
9月	防災「避難訓練」、クラフト「家族へのプレゼント」、作業「作業練習」、お金と数字「お金の練習」
10月	マナー「あいさつ練習実践編」、作業「作業練習」、運動「身体を動かす」、 数字とお金「お金の練習」
11月	マナー「自己紹介練習」、作業「作業練習」、衛生と掃除「手洗い練習、掃除の練習」、 数字とお金「お金の練習」、クラフト「クリスマスプレゼント作り」
12月	クラフト「クリスマスプレゼント作り」、数字とお金「お金の練習」、文字「年賀状づくり」、 清掃「大掃除」
1月	クラフト「正月遊び、初詣」、マナー「あいさつ練習実践編」、作業「作業練習」、 数字とお金「お金の練習」、クラフト「アルバムづくり」
2月	マナー「自己紹介練習」、文字「名前の書き方練習」、作業「作業練習」、数字とお金「お金の練習」
3月	マナー「あいさつ練習実践編」、散策「お花見」、作業「作業練習」、数字とお金「お金の練習」

(ウ) 就労プログラム（服部事業所）

【活動報告】 知的・発達障がいのある中学生と高校生12名を対象に将来働くことを目指し、働くうえでのルールやコミュニケーション力、それに基本的な技能の習得を目標に、年間計12回のプログラムをしました。

昨年度に続き、公園みどり推進課の協力を頂き、ふれあい緑地の隣にある豊中市の敷地で草引きや整地をして、花の苗植えの実習作業に取組みました。また、コロナ禍がまだ気になる中でしたが今年も特例子会社にて職場体験実習を実施しています。

他に作業練習や面接練習、調理実習を通して、メンバーそれぞれが経験を積み重ねて、やればできるという自信をつけることが出来たと思っています。

令和5年度 就労プログラム実施内容	
法人としてのビジョン	障がいがあっても社会参加は当たり前 みんなにやさしい共生社会の実現をめざして
重点目標	・働く意識の向上をめざします。 ・就労するにあたっての基本的な技能の習得をめざします。
課題	挨拶、コミュニケーション（報告・連絡・相談 ホウ・レン・ソウの実施） 聞くこと、尋ねることの重要性、集中力の習得、根気強さ、時間を守る など労働習慣と作業する力をつけます。
具体的な活動内容	自分の名前、生年月日、住所、保護者の名前などが言える・書ける、 挨拶が出来る（TPOに応じて、意味を理解して使い分ける。）、 自己紹介（臨機応変に対応できる。）、交通実習、面接練習、作業実習、 清掃実習（正しいやり方、要所を伝えてしっかりと取り組む。）
毎月の内容	今までの挨拶の練習、自己紹介カード、振り返りは継続して実施。 新たに交通実習を導入し交通機関でのマナー、切符購入、待ち合わせに ついて実地で練習を行った。 そして、SEED、大阪府庁、阪神友愛食品(株)にて実際の職場体験を行 う。 【実習先】

	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府庁公館 2名参加 ・阪神友愛食品(株) 5名参加 ・豊中市環境部公園みどり推進課 SEED 全員参加 <p>人との関わり、清掃作業、苗植え作業などを体験する。</p>
--	---

令和5年度 就労プログラム年間実施状況	
4/8 (土)	「オリエンテーション」 働くということとは？ 作業実習先の SEED の見学
5/13 (土)	作業実習「SEED 体験実習」
6/10 (土)	交通実習「公共交通機関を使う練習」、「待ち合わせの練習」 阪急大阪梅田駅～阪神梅田駅周辺 8月実習での待ち合わせ練習を実施
7/15 (土)	宿泊体験準備作業は調理用具等の箱詰め作業と名札づくり
8月	【職場体験実習】 7日～10日 阪神友愛食品(株)5名参加 (玉ねぎのネット詰め作業、リサイクル作業、コープ共済封入作業) 21日～25日 大阪府庁庁舎管理課守衛実習2名参加 (守衛実習、AED救命講習)
9/9 (土)	作業実習「SEED 体験実習」、夏季の職場体験実習の振り返り
10/28 (土)	さんあいイベント準備作業、看板づくり、名札づくり、地域へのチラシ配りと自治会への挨拶など
11/25 (土)	交通実習第2弾 梅田駅→大阪府庁、大阪城公園、NHK大阪放送局をめぐる班行動で、参加児童が主体的に移動ルートを確認していく。
12/9 (土)	クリスマスカードの製作、流れ作業の練習
1/13 (土)	作業練習と面接練習、2月の調理実習のミーティング
2/17 (土)	調理実習(服部事業所にて開催) ぎょうざ、パスタ、卵焼き、フルーツポンチ
3/9 (土)	作業練習、面接練習、感想発表、修了証と皆勤賞の授与

令和5年度 就労プログラム 一日の流れ 【基本パターン】	
13:00	手洗い、消毒、うがい、検温、保護者からの聞き取り(健康状態など) 連絡帳提出、出勤簿記入、トイレなど
13:10	挨拶ことば、自己紹介
14:00	その日のプログラム①
15:00	おやつタイム・休憩(コロナ禍で中止)
15:10	トイレに行くなど 時間の意識(時計を見る、時間配分)
15:15	その日のプログラム②
16:15	清掃作業
16:30	1日の振り返り 感想(書いて発表)
16:50	終了 挨拶、出勤簿記入
17:00	帰宅(帰宅後、その日の様子を保護者に伝える)

(6) 事業区分 障がい者の自立と就労参加を実現するための仕事づくり支援事業

【事業名】 障がい者の就労・職域開発事業

【事業内容】 毎日コンスタントに障がいのある人が6時間働き続けられる環境づくり、仕事づくり、その他関連する管理業務などを推進し、障がいのある人たちに出来るお仕事を探求しています。

障がいのある人たちは働けないのではなく、『どうせ、出来ない。』との周囲の偏見から働くことを諦めてしまうことが多くあります。

しかしながら、実際に支援を受けながらも、働き・体験値を積むことで、意識が変わる場合も多々経験してきました。そのような、働き方、また就業環境を広く知ってもらいたいという意味を込めて、障がい者の就労・職域開発事業を推進する役割を果たしていきます。

【事業場所】 豊中市

【実施日時】 通年1年

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【活動報告】 『障がいがあっても社会参加は当たり前～支援があれば働ける～』という、ハニー・ビーの理念のもと、障がい者と健常者が共に同じ職場で継続的に働き続けられる事業所を開設し、障がい者及び障がい者を支える人たちを採用し、一人ひとりの特性を活かした就労に繋がる育成をしてきました。令和5年度には、2名の障がいのある方が就労されました。

ハニー・ビーでは、障がいのある職員と支援する職員の就労環境を検証しながら、今後も事業を支える人財（人は財だから）との意識を持って障がい者に対し、就労の機会の提供に努め、人材育成の職場環境の整備に一層努めてまいります。

(7) 事業区分 障害者総合支援法に基づく一般相談支援事業

(8) 事業区分 障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業

(9) 事業区分 児童福祉法に基づく障がい児相談支援事業

【事業名】 相談支援センター ハニー・ビー

【事業内容】 これらの事業では主に知的・発達障がいのある人を対象に、利用者の意思及び人格を尊重して、「どのような暮らしがしたいのか」「そのためにはどのようなサービスが必要か」などについて、福祉・医療・教育・仕事・住まいなどの総合的な視点から障がい児者の方々の将来に関わる相談に耳と心で傾聴しながら、常に利用者の立場に立った適切な計画の立案をしていきます。障がいのあるなしに関わらず、自立した日常生活・社会生活を送るために共に考え支援をしていきます。

【実施場所】 豊中市

【実施日時】 通年随時

【事業の対象者】 障がい児・障がい者・ご家族等

【収益】 14,734,082 円

【費用】 7,203,270 円

【活動報告】 今年度はコロナ禍も第5類になったということで、「リアルにお逢いして話をする機会」の大切さを実感しました。「学校・地域連携をめざして」知的・発達障がいのある人や子ども達の将来に関わる相談に関しては、利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立った適切な計画を相談、寄り添う支援を心がけて、相談支援に取り組みました。

就労に関しての部分では、「やったことがないから、無理。」と行動に移

す前から尻込みしてしまう場面では、本人の特性も勘案しつつ、「どうやったらできるだろうか。」を考えて課題の認識、丁寧に判り易い説明を心がけて理解を促し、「行動」に移行していけるように根気強く進めていきました。時間はかかりますが、わたしたちが諦めないで利用者の将来の自立した姿を思い描いて、利用者本人や家族の思いやお話を傾聴しながら、利用者本人が「将来に向けて、前向きな行動」が取れるよう、利用者とその家族に寄り添った相談を心がけました。

今年度は、新たに進路を考える場面に悩む方が多くおられ、色々な機関と連携しながらの相談も多かったです。

(10) 事業区分 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

【収益】 1,112,453 円 (受取会費 620,000 円含む。)
【費用】 478,482 円

(ア) 【事業名】 自立と就労参加を実現するための情報発信事業

【事業内容】 ハニー・ビーの理念である『障がい者の自立・就労の意義』を普及するためのネットワークを構築するべく、豊中市をはじめ周辺自治体を含め啓発・広報活動を実施します。

【実施場所】 豊中市内、大阪市内、周辺自治体

【実施日時】 通年随時

【事業の対象者】 障害福祉事業所、企業、行政機関、地域団体、NPO など

【活動報告】 ハニー・ビーでは、様々な事業を展開する豊中市等の行政機関をはじめ各事業所と協力連携関係を深めながらネットワークを構築していきました。今後も、色々な課題解決に向けてハニー・ビーの職員が媒体となってミツバチのように飛び回れる機会を作って活動しました。

(イ) 【事業名】 通信発行事業

【事業内容】 ハニー・ビーの活動報告や情報を盛り込んだ『ハニー・ビー通信』を定期的に発行することにより、さらなる啓発・広報活動を実施します。

【実施場所】 支援学校、豊中市立小学校、中学校、行政機関など

【実施日時】 通年毎月

【事業の対象者】 知的障がいのある当事者と保護者、企業、教育、行政機関、市民など

【活動報告】 今年度は、ハニー・ビー通信第171号から177号まで発行しました。沢山の皆さんと出逢い、繋がることで、ハニー・ビーの活動を知っていただくことが出来たと思っています。その中で、法人設立前からお付き合いをいただいている方や、今は顔をあわせる機会が少ない方々にも、不躰になりますが、一方的に送らせていただく中で元気なご報告が出来たものと思っています。今後も継続は力なり、皆さんとの繋がりを大切に近況報告で元気をお届けしていきます。

(ウ) 【事業名】 職員研修事業

【事業内容】 ハニー・ビーでは、当法人の運営理念を全職員が認識し「選ばれるサービス」を目指し、知識と技能を兼ね備えた業務遂行能力の向上を図るため、毎年「職員研修実施方針」を定め、すべての職員を対象に研修を実施します。

【実施場所】 当法人事業所等

【実施日時】 基本毎月

【事業の対象者】 当法人職員、その他必要と認める関係者

【活動報告】 令和5年度（2023年度）も、「職員研修実施方針」に従い、運営理念、事業関連、安全管理等の研修の実施を計画し、実施しました。

2023年度1回目の研修として、全体会議の中で理事長からの「ハニー・ビーの理念と基本方針」について話をしました。「皆さんには、誇りをもって働いていただきたい」との思いを送り、また共に障がいのある方々の支援を行なうものとしてお願いしたいこと等、気持ちを込めてお伝えしました。

その後の研修に関しても、人権研修、虐待防止研修、発達に課題がある子どもたちへの支援、普通救命講習等様々な講師の方にお越しいただき研鑽できたものと思っています。

IV 社員総会の開催状況

第14回通常総会

(日 時) 令和5年6月21日(水) 19時から20時
(場 所) 豊中市本町6丁目8-1 金岡ビル2F 多目的室
(出席者数) 23名(うち委任状出席者16名)【社員総数 27名】
(内 容) 第1号議案 令和4年度事業報告承認の件
審議の結果、全員一致で可決承認
第2号議案 令和4年度決算承認並びに監査報告の件
審議の結果、全員一致で可決承認
報告事項
令和5年度事業計画並びに予算について

V 理事会その他の役員会の開催状況

(理事会は、注釈無しの場合は豊中市本町6丁目8-1 金岡ビル2階 理事長室にて開催)

	開催日・出席理事数	決議事項・報告内容等
第1回理事会	令和5年4月26日(水) 5名	決議事項 ・夏季一時金(処遇改善加算)支給について ・処遇改善交付金について ・令和4年度決算について ・令和4年度仮決算状況と来年度の予算 ・第14回定時総会の開催について ・来年度以降の理事の選任について 報告事項 ・3月の活動状況と年度振返りについて ・今年度の助成金申請について
第2回理事会	令和5年5月24日(水) 4名	決議事項 ・夏季一時金(賞与)支給について ・給与引き上げについて ・令和4年度決算について ・令和5年度計画、予算について ・求人現状と求人プロジェクトについて ・第14回定時総会の開催について (総会に向けての議案・報告事項等) 報告事項 ・4月の活動状況について

第3回理事会	令和5年6月21日(水) 5名	決議事項 報告内容	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年度事業計画並びに2023年度活動予算について(第14回総会報告事項) ・5月の活動状況について
第4回理事会	令和5年7月26日(水) 4名	決議事項 報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ・経理及び税務関係の顧問先について ・法改正に伴う各種規程の整備について ・来年の創立15周年にむけて ・2023年度第一四半期の活動状況 ・6月の活動状況について ・助成事業の進捗状況など ・ハニーラボの進捗と今後の予定 ・ホームページリニューアルについて ・助成金を活用した職員の求人について
第5回理事会	令和5年8月30日(水) 4名	決議事項 報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度中間決算を見据えて ・各事業所の今後を見据えた職員体制について ・7月の活動状況について
第6回理事会	令和5年9月27日(水) 3名	決議事項 報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ・さんあいイベントについて ・就業規則及び職員の働き方について ・ハロワーク集団面接会と今後の求人 ・ホームページリニューアルについて ・8月の活動状況について ・助成金の進捗状況と来年度の申請
第7回理事会	令和5年10月25日(水) 4名	決議事項 報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ・就業規則・賃金規程の変更について ・さんあいイベントについて ・令和5年度賞与について ・下半期及び来年度の方向性について ・各事業所の人員体制について ・今後の職員研修について ・9月及び上半期の活動状況について ・令和5年度中間決算について ・来年度の助成金申請について
第8回理事会	令和5年11月22日(水) 5名	決議事項 報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年12月賞与の支給について ・就業規則・賃金規程の変更について ・各事業所の人員体制について ・ホームページリニューアルについて ・10月の活動状況について ・来年度の助成金申請について ・さんあいイベント開催結果について ・ハニーラボのオープンについて ・令和5年度10月財務状況について ・2023年度の有給休暇の付与について
第9回理事会	令和5年12月20日(水) 3名	決議事項 報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ・求人募集について ・来年度の助成金申請について ・各事業所の規定、事業継続計画など ・来年度の事業計画について ・11月の活動状況について ・12月以降の財務状況予想について

第 10 回理事会	令和 6 年 1 月 24 日 (水) 4 名	<p>決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業所の職員体制について ・求人募集について ・各事業所の営業日について <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12 月の活動状況について ・令和 5 年度 12 月度期の財務状況について ・就業規則の変更について ・各事業所の BCP 計画 ・各事業所の防犯カメラ設置について ・ホームページリニューアルについて
第 11 回理事会	令和 6 年 2 月 28 日 (水) 4 名	<p>決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業所の職員体制について ・求人募集について ・新規採用（募集状況）について ・来年度の助成金申請と自主事業について ・職員のスキルアップ及び意欲向上に向けての取り組みについて（評価等） <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定年後、継続雇用制度後の働き方 ・1 月の活動状況について ・令和 5 年度 1 月度期財務状況と次年度総会に向けての決算予想について ・各事業所の代表者による勤怠管理についての勉強会について
第 12 回理事会	令和 6 年 3 月 27 日 (水) 4 名	<p>決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度決算と第 15 回定時総会について ・来年度各事業所の人員体制について <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2 月の活動状況について ・令和 5 年度 2 月度期の財務状況について ・来年度の助成金について ・来年度の自主事業について